

## ★ リヒャルト・シュトラウス: &lt;万靈節&gt;作品10-8 ~「最後の葉」による8つの歌曲より

Richard Strauss (1864~1949) : Allerseelen (All Souls' Day) Op.10-8

## ★ リヒャルト・シュトラウス: ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 作品18

Richard Strauss (1864~1949) : Violin Sonata E flat Major Op.18

## ★ オリヴィエ・メシアン: ヴォカリーズ・エチュード

Olivier Messiaen (1908~1992) : Vocalise-étude

## ★ 武満徹: 妖精の距離

Toru Takemitsu (1930~1996) : Distance de Fée for Violin and Piano (1951)

## ★ ロベルト・シューマン(1810~1856)おとぎの絵本 作品113より

Robert Schumann (1810~1856) : from Märchenbilder Op.113

## ★ アレクサンドル・グラズノフ: グランド・アダージョ(バレエ『ライモンダ』より)

Aleksandr Glazunov (1865~1936) : Grand Adagio from "Raymonda" Op.57

コレット・ヴァレンタイン  
(Colette Valentine)*Piano*

米国テキサス大学オースティン校バトラー音楽院コラボレーティブ・ピアノ科(室内楽アンサンブルやリサイタルなどにおける共演ピアニストを専門育成するための修士・博士課程として2008年に開設)主任/准教授。最も多忙なアンサンブル・ピアニスト、室内楽奏者として多彩な活動を展開している。透明で煌めくようなテクニック、高い芸術性、熟練したミュージシャンシップは高く評価されており、アメリカ国内外のアーティストや室内楽アンサンブルとの共演、コーディングも多数多い。カーネギー・ホール、ケネディ・センター(ワシントンD.C.)、パリ、チューリッヒ、東京、ソウル、香港など世界主要都市において演奏。また、大津純子らと共に立ち上げたピアノ・トリオ *<Ecco Trio>* (エッコ・トリオ) のメンバーとして活躍。トリオはワシントン・ポスト紙上「室内楽の親密さを醸し出す最高の演奏」と称賛されている。『ヴァイオリンの詩～ベル・エポック』『マラゲニヤ』『America』などのCD(日本フォンテック)にて大津純子と共に演奏。メリーランド大学にて学士および修士号、ニューヨーク州立大学(ストーン・ブルック)にて博士号を取得。

岡ノ谷 一夫  
(Okanoya Kazuo)*Guest Speaker*

生物心理学博士、東京大学大学院教授  
栃木県生まれ。慶應義塾大学を卒業後、米国メリーランド大学にて生物心理学博士。千葉大学文学部助教授、理化学研究所チームリーダーを経て、現在、東京大学大学院教授。文部科学省新学術領域・共創言語進化代表。動物コミュニケーション研究から音楽と言語の起源を知ろうとしている。趣味はリュート演奏と読書。近著に「脳に心が読めるか?」など。

## 会場



## ■コンサートお申込み書 (FAX送信先: 03-3486-8740)

お名前 \_\_\_\_\_

ご連絡先 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

名 \_\_\_\_\_